

定例会

3月7日～15日

新年度予算 83億8720万円

自力で調達できる収入が減り、厳しさを増す町財政

スマートインターチェンジを重点事業に

町民税は増えるが、固定資産税が減。借金の返済額も増え厳しさを増す。

平成25年第1回定例会は、3月7日から15日まで9日間の会期で開かれました。

町長から新年度予算の要旨が述べられ、平成25年度一般会計・特別会計予算、平成24年度補正予算を中心に審議が行われました。

町の主な収入である町民税は約1900万円の増額が見込まれますが、固定資産税が約5340万円の減となる事に加え、町の借金返済額が昨年度よりも約9360万円増えて約8億5860万円となり、財政運営に厳しさが増す実態となりました。

その他の収入である地方譲与税・各種交付金も減額され、厳しい財政運営が強いられます。そうした厳しい財政状況の中で、交通環境の改善、企業誘致の促進、地域の活性化など安八町の未来に大きな発展が期待されるスマートインターチェンジ建設促進を重点事業として取り組みます。

地方分権が進み、町条例の制定・改正が14議案。

また、国によって一括法(正式名称・地域の自主性および自立性を高めるための関係法律の整備)が施行され、町道の規格など、これまで国や県で決められていたことを、各自治体が独自に決めることができるようになりました。

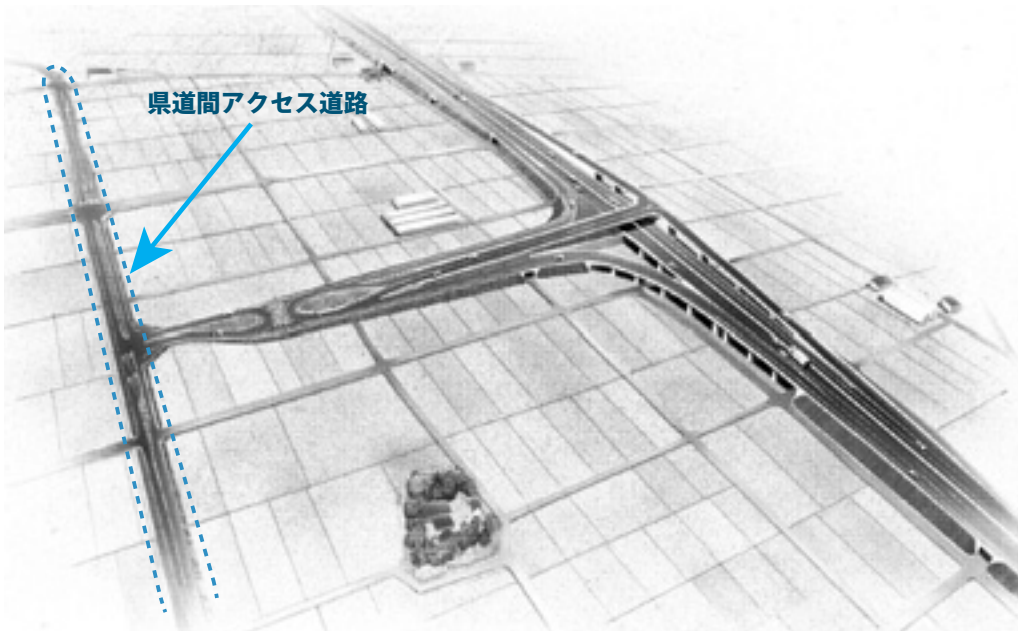
これに伴って町条例の制定と条例改正14議案が審議され、いずれも可決承認されました。(詳しくは8頁、各常任委員会への報告を参照ください)

固定資産評価審査委員に國枝氏を再任。

任期満了に伴い、現職の國枝氏の再任が町長から提案され、議会はこれを承認しました。



くにえだ まさひろ 氏 (70歳)
國枝 昌宏
西結2991 在住



本年度は2億2千万円を投じて、平成24年度から継続して整備を進めている県道間アクセス道路の測量・設計を行います。現在は、国への認可申請の準備を整えています